

# みらいゼミ成果報告会

## 「Ritsumeikan for all

## ～LGBTQ+の視点から学校を変えよう！～」

活動目的：すべての人にとって居心地の良い学校・社会をつくる。

本クォーターでの最終目標：他大学・他団体の活動を知ることによって私たちがすべきことについて案を出す。

### ◆活動実績

- 2022年10月 結成  
みらいゼミ「LGBTQ+と日本社会について考える」
- 同年11月 明治大学教授鈴木賢先生との座談会
- 同年12月 フィールドワーク東京地裁  
「結婚の自由をすべての人に」訴訟の傍聴
- 2023年2月 OICのある茨木市の公立小学校  
出張授業「LGBTQ+ってなに？」の開催
- 2023年3月 冊子「LGBTQ+と就職」の作成開始  
冊子にはLGBTQ+に関する取り組みをされている企業の紹介ページ、社会人の当事者へのインタビュー、学内のキャリアセンターへのインタビュー記事などが掲載されています。2023年7月から3キャンパスそれぞれのキャリアセンターにて設置しております。
- 同年4月 「京都レインボープライドパレードフェス2023」へのボランティア参加、ブース出展、ステージ発表  
ブース出展では参加者の皆さんに「みんなに知ってほしいこと」「私にとっての理想の社会について」などをテーマに自由にメッセージを募集しました。イベントではLGBTQ+に関して活動されている団体や学生さんとの交流を通してお互いの活動について共有することもできました。
- 同年4月 みらいゼミ  
「Ritsumeikan for all～LGBTQ+の視点から学校を変えよう！～」として新たなメンバーを加えて再スタート  
本クォーターでの活動は以下の項目でそれぞれ紹介しております。そのほかに7/1に開催された「レインボーフェス2023 in南座」にてブース出展をさせていただきました。本学の卒業生の方にお会いし、また他大学の学生さんとも交流できてとても貴重な機会になりました。

### ① 本学のガイドラインの分析

本クォーターにて私たちははじめに、本学が発表している「立命館大学における性の多様性に関わる学生支援の対応ガイドライン」を読んで感じたことを共有し合いました。その後、他大学のガイドラインとの比較を行いました。その結果を紹介いたします。

#### ●課題だと感じた点

- ①自ら進んで調べないとこれらの情報を得ることができない現状  
→ 新入生に対して入学時にガイドラインを冊子にしたものを配布している大学もあります。紙媒体でガイドラインを配布することで多くの学生に知っていただくことが可能になります。
- ②相談窓口が部署ごとに分かれておりわかりにくいことに加え、どのような対応がされるのか明らかにされておらず相談することを不安に感じる学生もいるのではないかと  
→ 一部の他大学ではLGBTQ+関連の対応に特化した窓口が設けられています。
- ③職員に対する取り組みがされているのかがわからない。されている場合はどのような取り組みが行われているのかを知りたい。  
→ 職員に対して行っている取り組みを具体的に紹介している大学もありました。また、メンバー内では「授業中の教授の発言によっては取りたいテーマの講義でも受講することを躊躇ってしまう。」という意見がありました。その中で、シラバス内でALLY（支援者・理解者）が可視化できれば良いのではないかと意見が出ていました。
- ④「氏名」「性別」の情報の変更に関して、立命館大学では「戸籍上」での変更後しか手続きを行えないこと。  
→ 「戸籍上」での変更が行われていなくても「氏名」や「性別」の情報を変更することが可能な大学もあります。

### ② 本学のキャリアセンターへのインタビュー調査

私たちは冊子「LGBTQ+と就職」の作成を通して本学のキャリアセンターではどのような取り組みがされているのに関心を持ちました。しかし、キャリアセンターのサイト内ではLGBTQ+に関する情報があまりなく、個別相談に関してどのような対応をいただけるのかについて想像しにくい現状があると感じました。そのため、衣笠キャンパスのキャリアオフィス課長補佐の中原さんにインタビューをさせていただきました。

#### ●相談員は具体的にどのような点に留意して対応するのでしょうか？

→ これまでの悩みを就職先で受け入れてもらえるか否かで止まってしまっているケースが多いため、その先にある「働くこと」に対するイメージまで支援をしていきます。本来就活はやりたいことやワクワクすることの探求だからです。

#### ●どのような人に相談できるのでしょうか？

→ キャリアセンターの専門相談員は、国家資格であるキャリアコンサルタントを所持しており、学生一人一人の「働くこと」や「生きること」をサポートしています。そして、Diversity & Inclusionを推進する学園としてどの職員でも、自主的にLGBTQ+講習会を受ける機会があります。また、キャリアセンター内では様々なテーマで研修会や強会を開催し、学生の多様性を理解しようと努めています。

### ③ 大阪公立大学「ハムダイバーシティプロジェクト」さんとの交流会

私達は、大阪公立大学に於いて、性の多様性について考え、その啓発活動を行っている団体である「ハムダイバーシティプロジェクト」の皆さんとZoomでの交流会を行いました。関西に於けるLGBTQ+活動団体の活動状況や課題等について話し合う、大変貴重な機会となりました。

LGBTQ+に関するガイドラインの情報を共有したり、ハムダイバーシティプロジェクトの皆さんが実際に設置に携わっているオールジェンダートイレについてのお話を伺ったりしました。オールジェンダートイレの設置に関して、費用面での困難やその設置に対する誤解などが未だに多く存在しているという課題もありました。

今後、私達も大阪公立大学のような他大学との連携を深め、より一層の協力を行いたいと考えています。

### ④ フィールド調査：大阪大学ダイバーシティ&インクルージョンセンター

大阪大学のダイバーシティ&インクルージョンセンターを訪問し、職員の方からお話を伺うことができました。大阪大学さんではSOGI多様性に関するセミナーの開催や「新しいトイレの提案」をはじめとする様々な取り組みが実施されており、私たちメンバーはこのような取り組みが学内で行われていることは大きな安心材料になるのではないかと感じました。

### ◆今後行いたい活動に関して

第1クォーターでの活動を通して、「学校・社会を変える」という大きな目標を達成するための手段としての活動の案を出し合いました。それらの中の一部をこちらで紹介します。

- 本学のダイバーシティ&インクルージョンセンターがどのような取り組みをされているのか調査したい。
- 衣笠キャンパスに設置されているオールジェンダートイレに関してどのような経緯で設置されるに至ったのかを明らかにし、他団体に共有したい。
- 学内でアンケートを実施し、学生や職員のLGBTQ+に関する意識調査を行いたい。